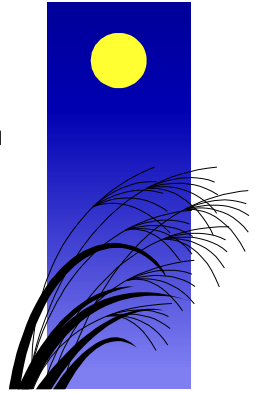




ひろば通信 9月号



こんにちは。皆さま、いかがお過ごしでしょうか(^o^)/

さて、今回のひろば通信は、庄内地区をレポートします。



～庄内地区担当職員(地域づくり職員)会議～

庄内地区には、福祉ひろばや公民館が開設されており、地域の悩みや課題、取り組みたい案などが住民の皆さんとの間で話題に挙がるようになりました。こうした意見をさまざまな関係機関と共有したいと、平成20年6月に庄内地区公民館長の呼びかけで、地区担当職員(地域づくり職員)会議が開かれました。議題は、職員の中で困っていることや関心のあるもの、住民の意見等さまざまな分野に渡り、会議は月1回、通常福祉ひろばで行われています。

参加職員は、庄内地区福祉ひろばのコーディネーター(3人)・庄内地区公民館(館長・館長補佐)・こどもプラザ館長・さくら保育園長・筑摩児童センター館長・並柳児童センター館長・神田保育園園長・

並柳保育園園長・相澤病院総合リハビリセンター(2人)・社会福祉協議会・南東部地域包括支援センター(看護師)・中央保健センター保健師(健康づくり課)・人権男女共生課係長・福祉計画課庄内地区担当(3人)が主なメンバーです。

また、開成中学校・並柳小学校・筑摩小学校の校長・教頭先生や子ども会育成会、読み聞かせボランティア・かえでの会の皆さんなど、地域における子育て支援などの議題を話し合う際に参加していただき、庄内地区担当職員会議は他機関の交流の場にもなっています。

今年度は庄内地区が「防災と福祉のまちづくり講座」に取り組むこともあり、会議にも議題として挙げられます。子どもからお年寄りまでそれぞれ関わっている機関の担当者が顔を合わせ、地区でどのように防災力を高めるか・住民に意識啓発していくか等が話し合われています。



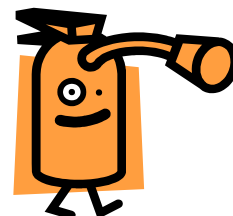
輪になって、意見交換☆





↑ 打合せ風景

～防災と福祉のまちづくり講座～



庄内地区では、平成 22 年から「防災と福祉のまちづくり講座」を開催します。

皆さんご存知の通り、松本市では「防災と福祉のまちづくり講座」を地区単位で実施しています。これは、各地域の実情に対応しながら、地区の住民の皆さんと一緒に、地域の防災力・福祉力の充実を目指すものです。

事業期間は 2 年、町会長・町会役員・自主防災組織役員・民生児童委員・

日赤奉仕団・消防団・学校・事業所など、地区内のさまざまな立場の方の参加と連携で講座を行い、意識啓発や自主性を引き出し、参加者同士の連携を密にして防災力を高めるのがねらいです。一回目の講座では、講師に(有)コラボねつと

の石井布紀子氏を迎え、災害の実態や防災力を高めるための概念、具体的な対策について話をさせていただきました。また、町会毎にグループに分かれ、町会の一時集合場所を確認し、災害時に必要な物品や平常時の不安な点を挙げてもらいました。

こうした取り組みを通して、防災対策はもちろん地区住民の団結力を高め、関わりあいを持つ機会になるようにつなげていきたいものです。

庄内地区の皆さん、ご協力ありがとうございました！今月はこの辺で(^o^*)v



↑ 集まった庄内の皆さん



講師の石井氏 ↑



↑ グループワーク

防災について真剣に確認↓

会長さん & 防災マップのスナップ↓



↓ スタッフへの質問も見られました☆

